



頭部は明るい黄色。



鼻孔は丸く吻端にかなり近い。



吻は扁平でやや細長い。



黄色い部分は成長につれて広がる。

サバンナオオトカゲ 〈頭が大きい〉

学名：*Varanus exanthematicus*

外国語名：Savannah Monitor, Bosc's Monitor, Steppenwaran

異名：サバンナモニター、ボスクモニター

原産地：アフリカ中部一帯

体長：最大全長 100cm±（頭胴長 47cm±）

類似種：イワオオトカゲ

掲載種の実産国が日本に輸出するために発行した輸出許可数
(1981～2007年)：17,455 個体

①頭部の形態

- ・頭が幅広く、尾は長くなく、四肢も比較的短く、オオトカゲとしてはずんぐりしている。
- ・鼻孔は細長く目に近い。
- ・鼻孔から吻端までの距離は、鼻孔から目までの距離の約2倍。
- ・目の上の眉にあたる部分が眉びさしのように張り出す傾向にある。
- ・頸板は大きい（図 7A）。

②鱗の形態、尾の断面の形

- ・尾は著しく側扁（図 3B）。
- ・尾の中央部の鱗は上下がほぼ同じ大きさで、環状に配列している（図 4B）。

③体色と模様

- ・背面は灰褐色や茶褐色で、黒褐色に縁取られた白っぽい水玉模様のあるものが多いが、ほとんど無地のものもある。
- ・下顎には黒い小斑紋が一面にある。

④類似種との比較

- ・本種とイワオオトカゲは、他のオオトカゲに比べて成体でも頭部が大きく寸詰まりで「丸顔」に見える。
- ・原産国の輸出許可数も多く、国内で飼育されている数も多い種であると考えられる。



肩の部分に隆条がある。



鼻孔から吻端までの距離は、鼻孔から目までの距離の約2倍。



全体にずんぐりむっくりしている。



他のオオトカゲに比べて頭部が大きく寸詰まりである。



頸板がつぶれた粒状に分化する。尾は著しく側扁し、短い。

イワオオトカゲ 〈鼻の上側がふくれている〉

学名：*Varanus albigularis*

外国語名：White Throated Monitor, Cape Monitor, African Rock Monitor, Black Throated Monitor, Weißkehlwaran, Leguan

異名：ノドジロオオトカゲ、ホワイトスロートモニター、ケープモニター、アフリカンロックモニター、レグアン

原産地：アフリカ大陸東部、中部以南

体長：最大全長 160cm± (頭胴長 77cm±)

類似種：サバンナオオトカゲ

掲載種の原因国が日本に輸出するために発行した輸出許可数
(1975～2009年)：1,777 個体

①頭部の形態

- ・サバンナオオトカゲと同様、頭が丸くて大きい。
- ・鼻孔から吻端までの距離は、鼻孔から目までの距離の約3倍。
- ・鼻孔の上面が外側に張り出し、鼻が膨らんだ感じの顔つきをしている。

②鱗の形態、尾の断面の形

- ・尾は強く側扁する (図 3B)。

③体色と模様

- ・背面は灰褐色で白っぽい水玉模様がある。
- ・眼の後方から黒い縦条が後ろに伸びる。
- ・下顎の外縁は白く、これが学名の *albigularis* (白い喉咽頭の、という意味) の由来と考えられるが、喉そのものは黒い場合もある。

④類似種との比較

- ・サバンナオオトカゲとよく似ており、かつては同じ種であると考えられていた。
- ・サバンナオオトカゲよりも鼻孔が目に近い。